

第二回教員野球リーグ戦

平町三中等學校が争覇

- 一、期日 十月十三日(日)午前八時ヨリ
- 二、球場 平商グラウンド
- 三、参加チーム 警中、平商、警女各教員チーム
- 四、試合方法 標準軟式野球ルールに依り優勝争奪リーグ戦
- 五、昨年優勝 警女チーム
- 主催 常磐毎日新聞社

泣き笑ひの

本郡繭相場

昨日又も躍騰

二、三日來騰落の差目狂ましく地方養蠶家を泣き笑ひの一紀一憂に奔弄し續ける四倉市場の繭相場は八日に至つて前日の暴落から又々最高六圓九十八錢に超奔騰廿五錢の躍超騰を示したが最低五圓卅八錢に買馴六圓卅七錢で出廻は八百五十五貫であつた

日支事變

出征功勞

近く傳達式

平町鎌田町高田清三氏は日支事變に出征した功に依つて今回賞勳局より勳記を授けられ長橋町關内庄平、白銀町花澤行雄の兩氏に對する従軍記章と共に近頃後場で傳達式が行はれる

崩壊縣道

土盛の陳情

警崎村大字藤原宇田坂場地内縣道三百二十間の箇所は降雨毎に路面が雨水に洗はれ南側の石垣百七十間は崩壊して交通にも差支へるから土盛工事を起され度いと本日同部落北郷市三郎外三十八名は連署の陳情書を本土木監督所に提出した

小麥乾燥

講習に選抜

石城郡農會は来る十三日より縣農事試験場に開催される農林省主催の小麥火力乾燥講習會に郡下から講習員を選抜松薦することになつたが講習會の目的は既報の如く五ヶ年計劃の下に増産されてゐる小麥が計劃期限の一年をあまして早くも計劃豫定額に達して居り現在では消費の途に困難を來たしてゐるのでこれらの小麥を充分に乾燥して販路擴張を強化せんとするものである

排水路の

工事打合

既報平町は紺屋町地内排水路工事着手に就き明日午後一時より町會議事堂に土木委員會を開いて打合せを行ふと

農家に

息を吹こむ

鮫川工事開始

昨報鮫川水利組合の小名濱玉川地内鮫川水路改修は凶作應急農業土木工事として廿日頃より開始されるが同工事は地方關係農村から人夫を募集することを主眼として居り來年三月卅一日に亘る長期の工事として勞銀の収益は直接間接に同地方農家の濡される利益

は莫大であるため期待されてゐるが延長千五百米、上遠野村に起点を置く同水路の改修は總セメントに護岸され従來の水漏の心配が一掃される譯である

八十歳以上

長壽者六十三名

平町の敬老會が招待

平町女子青年團の敬老會は既報の如く来る十三日平第二小學校で催されるが同團幹部が調査の結果八十才以上の該當者は左記六十三名あり最高齢者は白銀町の白土トモ嬢の九十四才で當日は記念品に座蒲團を寄贈の筈、尙調査洩れの方があつたら至急平第二小學校まで申出られたいと

- (南門)室直與 小島ノブ 小泉ヨシ 齊藤カヤ 佐川泰榮 十五丁目)中村至善 小林ノブ 荒垣ヒロ (才植小路)吉畑ハツ 千葉すみ 笹生精助 笹生ヒサ(八幡小路)木村竹次 郎 菅ノ澤)寺田クラ 桑原鈴軒(鍛冶町)伊坂眞正 (堂ノ前)會澤喜四郎(仲町)沖野ヨシ 大野チエ 大槻スギ(材木町)長瀬きり 菜花タメ(舊城跡)青沼ミオ 大内セキ 皆川平吉(月見町)折内キタ (堤ノ内)大和サキ(新川町)鈴木蝶(南白銀町)齊藤カヤ 石島一徳 齊三富ツメ 新妻ソヨ 大原ミサ(田町)武田コウ 友部ナカ 伊藤すじ 三浦フミ 三浦與五郎(揚土)渡邊フヂ(立町)橋久吉

開花期の降雨と

採培の不熟練が

愛國廿號減收の原因

連雨と風水害の痛手を蒙つた石城地方稲作の被害は頗る擴範に亘り殊に山間部地方は昨年以上の凶作を豫想されて悲憤されてゐるが同地方の品種は縣の獎勵品種愛國廿號を栽培して居る關係上幾分品種に對する疑惑を云々されてゐるが今回の減收は不幸にして開花期の降雨のため失敗したものであつて本年丈の減收成績で品種悪と断定はなし得ない譯で今回の減收原因の重なるものは開花期と降雨と栽培技術の不熟練が根本となつて居りまた遅植のものが幸に開花の降雨をよぬがれて比較的好結果を示し

戸籍視察

縣外へ四氏

平區管内の戸籍會は戸籍寄留事務視察のため小名濱町役場戸籍係村と信太郎氏外四氏を縣外へ派遣した一行は今日午前七時二分平發茨城縣川原市町を振出しに四泊五日の豫定で千葉縣市川市、幕張町、佐倉町等各同事務取扱優良都市を視察すると

久し振りに

平町會開く

平町は来る十一日午後一時より町會議事堂に町會を召集、區長推薦並に新川改修工事の促進計劃其他を附議する

三浦屬が榮轉

平稅務署三浦金治氏は今般稅務屬に昇任秋田縣本庄稅務署間稅課に榮轉來る十四日午前八時發下り列車で赴任すると

大澤教諭出着

平商業學校大澤教諭は明日より

り二日間北海道室蘭市で開催の關東北北海道商業教育協議會に出席すると

無料診療所

既報工三坂で竣工 專費千五百圓で永戸村役場前に建設中の無料診療所は去る七日竣功したので本日縣衛生課の緑川警部補が出張竣工検査を行つた

警中野外演習

警城中野外演習 警城中學校は今日九日庄司、遠藤兩教官指揮下山田、山本兩教諭附添の下に平窪村鯨岡幕の内を中心として二年生の野外演習を行つた

水曜會の茸狩

平區裁判所檢事辯護士より成る水曜會は来る十三日白岩山に茸狩を試みると

四倉軟式野球

四倉町鷓鴣會主催第六回町民軟式野球大會は六日同町小學校々庭で開催参加四チームで四倉オービー組が優勝した

平町人壽

△舊城跡 當時東京市中野區昭通三丁目佐々木東海雄氏二女タカ子

見習男女工

右至急募集す 希望者來談あれ 常磐毎日印刷會社 長橋町 電話六三〇

怪死の現場は

書なほ暗い山林

他殺の嫌疑が濃厚

八方に張る捜査網

既報下三坂村の區長白石清次（五）の奇怪な變死事件は平署司法部總動員の調査にも拘らず死因に確證を握るに至らず屍體解剖に多大の期待をかけたが藤沼醫師は昨日

現場で解剖を行った

結果果然他殺説が有力となり捜査陣は急に色めき立ち折柄サイドカーで駆け付けた柴田平署長指揮のもとに新たな捜査網を張り本日九日は更に縣刑事課と連絡

山林事件が

怪死の鍵？

捜査方針一變

近く犯人逮捕

別項白石區長の怪死事件は他殺の嫌疑が濃厚となつた爲め柴田平署長出張指揮に基く捜査の方針が一變するに至つたが同部落の山林問題に關して目下係争中の訴訟事件があり同區長は同事件の黒白を決する鍵を握る證人として喚問を受け近く法廷に立つ筈となつて居

を取る爲め三坂澤渡兩駐在所間に臨時警察電話を假設したが

死因は 腦溢血其の他

の病症に依るものではなく二三ヶ所強打され急激な衝動を受けて絶命したものと思われるが現場は平町から十二里程離れた晝尚暗い

杉林の中 起こつた事

件であり發見以來四日後末に犯人が捕られぬので不可解な怪死事件として地方民の獵奇心を咬つてゐる

第一校の

運動會に

疑模戰闘實演

平第一小學校秋季陸上運動會は昨日、明日午前七時半より同校々庭で舉行されるが今年より参加の平町青年學校生徒の煙幕等の實演模戰闘等あり盛況を豫想されて居る

第二校書展へ 久濱

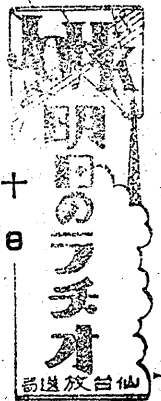
小學校で校舎増築記念の書道展覽會を同校講堂に開催する爲め平第二小學校より左記兒童の作品を送付した
（一年）宮川幸子（二年）原キシ子（三年）鈴木知恵子（四年）鈴木シヅ（五年）千葉恰子（六年）關内ます子（高一）佐藤久子（高二）菊地省子

近藤教諭審査

近藤警中教諭は明日より白河町で開催の圖書教育研究會西白河支部主催の繪畫展覽會へ審査員として出席する

入山社長來郡

湯本町入山炭礦會社長島岡亮太



今晚の部
今晩悪明日も北東の風幾分悪くなる

衛生掃除の

注意を促す

平町役場から

各區長を通じて

既報平町の秋季衛生掃除は来る十二、十四の兩日と決定したので町役場では本日各區長を通じて全市に
一、家屋内外床下等を清潔に掃除すること
一、家財道具塵等悉く屋外に搬出して充分日光に曝すこと
一、床下の塵芥を除き濕潤の箇所は砂又は石炭粉等を撒布する
一、便所、塵溜、溝渠等は掃除し破損箇所を修繕する
一、本年及前年傳染病を發生した家は床下に生石灰を撒布し室附近を石灰酸で消毒し更に便所下水溝等は生石灰又は石油乳劑を撒布する

解禁を控へ

獵天狗の腕鳴る

平署は来る十五日の狩獵解禁を控へ昨日より狩獵免許狀交付を開始し第一日目の希望者は僅かに一名で秋晴れの空に轟く獵銃の音もこれでは寂し過ぎると拍子抜けの態で居るが管内澤渡

武内大造
前九一〇料理献立「肉入玉子のトースト」小山茂
前一〇三〇家庭講座「トラホームの話」醫學博士須田卓爾
後一〇五木曜コンサート P.C.L.オーケストラ
後二〇〇小學生の時間 尋四唱歌「牧場の朝」木下保 伴奏木下照子
後二四〇理科「おいし秋の果物」西澤藏
後五三五郷土史講座「林子平と藤塚式部」齊藤莊次郎
屋町 田町 一丁目 二丁目 材木町 鍛冶町 南町西 久保町 胡摩澤 搔槌小路 舊城跡 八幡小跡 北目町

兒童體育盛況 石城郡教育會第一區方部會兒童體育大會は六日前九時より川部村小學校々庭に開催澄み渡るスポーツ日和に定刻國旗掲揚と共に國歌合唱野木川部校長の開會の挨拶あつて走技投技跳躍と三所に分れて競技に移つたが惠まれた秋空に觀衆多く盛會裡に終つた

平職樂結の所報告

回人を求める方
△植字工 廿五才以下 高卒以上 月給廿五—卅圓
△人絹女工 尋卒日給卅圓
△同男工 高卒日給五十錢
△官署人夫 五十才以下 日給七十錢
△粕人夫 廿九才迄 月給十圓
△漁業雜夫 尋卒 卅才迄 月給十二圓
△旅館番預 尋卒 卅才迄
△豆腐賣子 尋卒 四十才迄 迄歩合
△女中 尋卒 卅才迄 月給四—五圓仕着 給料面談
△旅館女中 尋卒 卅才迄 給料面談
△回職を求むる方
△絹糸男工 尋卒 廿一才
△同高卒 十九才
△雜役 廿六才 尋四修
△硝子店員 廿二才 高卒
△店員 十九才 甲種商卒
△給仕 十八才 高卒
△雜役 廿四才 甲種商卒
△外交員 廿六才 高卒
△同 卅一才 高卒



明治太平記

(上段及上段)

(作) 寺島在史
(監) 寺島在史

第二百四十六回

自嘲 (五)

板小屋の前に、工事役人
請所があつた。

それへ大志賀は、連れて
いかれた。工事役人が二三
人、粗末な椅子に腰かけて
何やら調べものをしてゐた
『頬かむりをとれ』
八字ヒゲの役人は、ヒゲ
をひねつた。

大志賀はいはるゝまゝに
手拭をとつた。

『どうも、人足づらではな
いのう、工事場へ入る前に
何をしてをつた。
そくざに返事ができなかつた。

『二本さしか』

『いや、百姓をしてをりま
した』

『なに、百姓？ どの百
姓ぢや』

『印幡懸管下、下總の國葛
飾郡船橋在の、水吞百姓で
す』

『うむ、手を出してみせろ
……』

『……』

『手を出さぬか、手相をみ
るのではな』

大志賀は、片手を役人の
前に出した。
『水吞百姓の手ではないぞ
この竹刀ダコはどうぢや』
『水吞百姓ながら、いさゝ
か竹刀を握つたことがあり
ます』
『親の敵でも討ちたいため



『いや、武士になりたいた
めに在所の先生のところへ
かよひました』
『……』
『……』
『……』

つ葉役人どもに旗本上りの
意気のあるところをみせて
やらうかとおもつた。
『歩けい』
と、再度いはれたとき
——何を！と、反意を示
さうとして、わづかにそれ
をおさへた。

『いや』
『黙れ、黙れ！おのれも
徳川再興をねがふ浪人團の
片割れだらう』
『滅相な、けつしてそのや
うな……』

『いや、鐵路工事場へま
まとばけこみ、無智な人足
どもを煽動しようといふの
だらう、これより屯所へ參
つて、とへと吟味してもら
はう。歩けい』

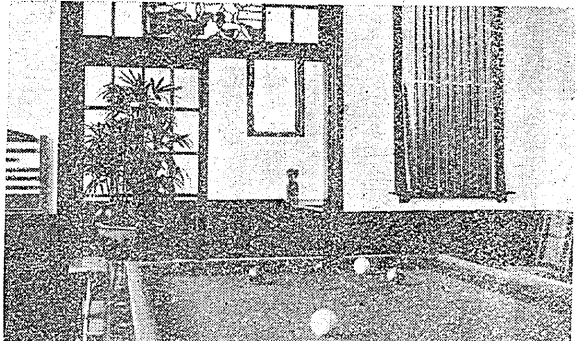
役人はあくまでも罪人あ
つかひである。大志賀も、
かうなつてはもう水のみ百
姓づらもできなかつた。こ
らでひとつ肩肘を張り木

すぐ眼の前に、御用商人
らしいのがゐて、意味あり
氣な眼付で、自分を見詰て
ゐるのに氣がついたからだ
しかも、商人の顔は……
『しばらく……お役人さま

御用商人は、八字ヒゲの
役人に頭をさげた。
『なんぢや』
『屯所へお引立てなさる前
に、ちよいと、その……』

御用商人は、すばやく役
人のポケットへ、このごろ
発行した新紙幣を二枚ほど
押込んでしまつた。
『なんぢや、何用ぢや』
紙幣の効能はときめん、
役人の態度は急にやはらい
だ。

『これなる百姓は、手前ど
もがよく存じてをりますも
のですから……』
御用商人は、しきりに手
をもんだ。



『だから、屯所へ引立てる
ことを許せと、斯様に申す
のか』
『まあ、いはゞそんなとこ
ろで……へえ』

『知り合ひといふたな』
『はい、けつして、二本さ
しの浪人者ではございませ
ん、どうかお見遁しのほど
を……』

清涼の小瀧へ!!

◇宿泊料	1.50	2.00	2.50
(御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)			
◇日歸浴席料	.20		
◇自炊	.50	-.80	
◇料理一定食	.80	1.00	1.50
◇湯	(その他一品料理洋食)		
◇諸設	効 神経痛、リウマチス、胃腸病、 痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所検定済)		
◇名物	備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間、 讀書室、近代式浴場と洗面所、水 洗式便所、小動物園、タクシー 御子様運動器具		
	川魚料理(うなぎ、鯉、蜂蜜羊かん)		

●女中數名入用●
常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 瀧の湯
電話 (小名瀧) 103番

かまぼこ

お茶屋

平町一丁目
お惣菜用
さつま揚
吉原揚
電話一四一番

開 院

五十嵐産科醫院

平町新川町一二
醫學博士 五十嵐雄二
電話三七〇番
(入院應需)

夜 間 療 診

腸胃性病性

内 科
胃腸病科
皮膚科
性病科
花柳病科

門 專

院醫 性病 胃腸 村松

(平町南町一〇七番)

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお奨め致します

平町田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
電話一二七番